

テーマ 「 体験を通して、自国や自分を知る 」

旭川龍谷高等学校

校長 中田 伸次

担当 石井 信

1. 活動の趣旨

E S D実践の具体的活動として、本校では以下の3点に主眼をおいて取り組んできた。

①郷土研究を通じた北海道文化の考察、②ボランティア活動を通じた地域社会への貢献、③海外見学旅行を通じた、国際理解教育の推進である。

2. 活動計画

	活動計画	活動計画
4月	あしなが募金ボランティア活動・ごみ拾い活動	ゴミのポイ捨て禁止運動春季街頭啓発及びごみ拾い
5月	ごみ拾い清掃ボランティア活動 旭川アイヌ協議会主催チノミシリカムイノミ	RI第2500地区インターアクト地区大会参加 学生合同文化祭
6月	身障者活動支援ボランティア 知里幸恵記念文学碑祭	身障者スポーツフェスタ支援ボランティア ヌプリコロカムイノミ
7月	第58回龍谷祭にてチャリティーバザー 体験学習会	青少年赤十字スタディーセンター参加 交換留学生帰国
8月	第41回「愛は地球を救う」24TV街頭募金活動 アイヌ記念館まつり	養生の杜カムイ収穫祭お手伝いボランティア 交流会
9月	北海道療育園第43回北寮祭お手伝いボランティア カムイチェップノミ	養生の杜カムイ敬老会お手伝いボランティア こたん祭り
10月	あしなが募金ボランティア活動・ごみ拾い活動 体験学習会	海外見学旅行（台湾・ハワイ学校訪問、交流）
11月	障害者スポーツ記録会のお手伝いボランティア 旭川アイヌ文化フェスティバル	第15回全道高校ボランティア研究大会参加 アイヌ文化に親しむ日
12月	第40回ユニセフのハンド・イン・ハンド街頭募金 体験学習会	交流会
1月	除雪・雪割お手伝いボランティア 体験学習会	交流会
2月	第60回旭川冬まつりお手伝いボランティア 体験学習会	交流会
3月	除雪・雪割お手伝いボランティア カムイチェップノミ	RI第2500地区インターアクト海外短期研修会

3. 活動事例

高文連「郷土研究」最優秀賞

岩内地方文化センターで第53回高文連全道高等学校郷土研究発表大会があり郷土部が参加しました。郷土研究部門で、上川アイヌの研究その53「上川アイヌの世界観〜カムイと共に生きる上川アイヌ〜」を発表、最優秀賞(18度目)をいただきました。そして、来年度の全国総文祭出場となりました。

IAC「ボランティア研究大会」参加

インターアクトクラブが、高文連のボランティア研究大会に参加しました。同じ活動をしている高校の生徒との研修や情報交換が行われました。支部大会では、各校の活動紹介と「災害時にできること」の講演、研修は「避難所運営ゲーム北海道版」で防災対策の課題について考えました。全道大会では、テーマは「思いよ、ひとつになれ〜皆の力で一歩ずつ前へ〜」です。1日目は、全体講演・総文祭と実践報告・交流の場が行われ、2日目は、12の分科会に分かれ研修が行われました。

台湾学校訪問

基隆市の輔大聖心高中を訪れ学校交流が行われました。輔大聖心高中との交流は、今年で3年目を迎えました。日本文化である折り紙で鶴を折り、その後、授業体験や施設見学をし、現地の高校生と仲良く過ごしました。

ハワイ州カラニ高校訪問

カラニ高校を表敬訪問しました。カラニ高校とは1985年に姉妹校の締結をしており、毎年、見学旅行で代表生徒による親善訪問（授業体験や施設見学）をし、交流を深めています。



4. 成果と課題

本校のESD活動の柱となっている3点について、郷土理解では、アイヌ研究が認められ高文連全道大会で最優秀賞を獲得できたが、活動する生徒が減ってきている面もある。社会貢献では、計画した行事は全て参加できたが、一部の生徒ではなく学校全体での取り組みも必要である。国際理解では、台湾・ハワイの学校訪問・交流ができたが、相互訪問というかたちで交流できれば、更に充実したものになるだろう。